

# 最近の雇用情勢について

(令和3年2月)

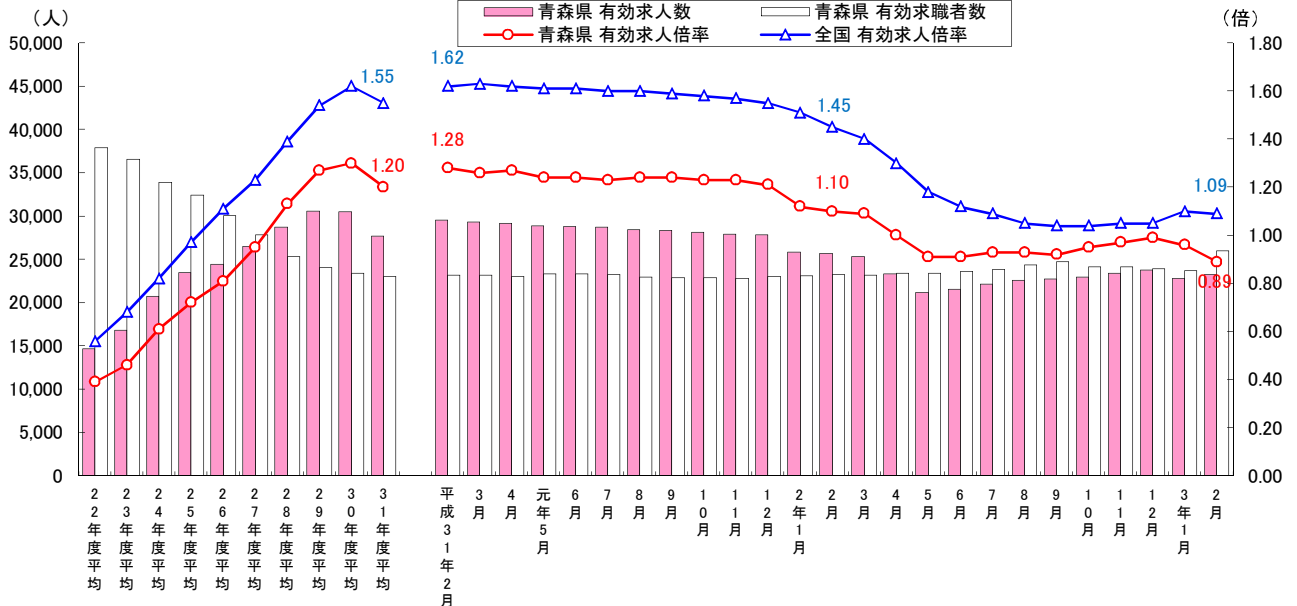
青森労働局

職業安定部

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ1.9%増加し23,241人、有効求職者数（同）は9.7%増加し26,002人で、有効求人倍率（同）は0.89倍となり、前月を0.07ポイント下回った。  
就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は0.97倍で前月に比べ0.07ポイント下回り、受理地別の倍率を0.08ポイント上回った。

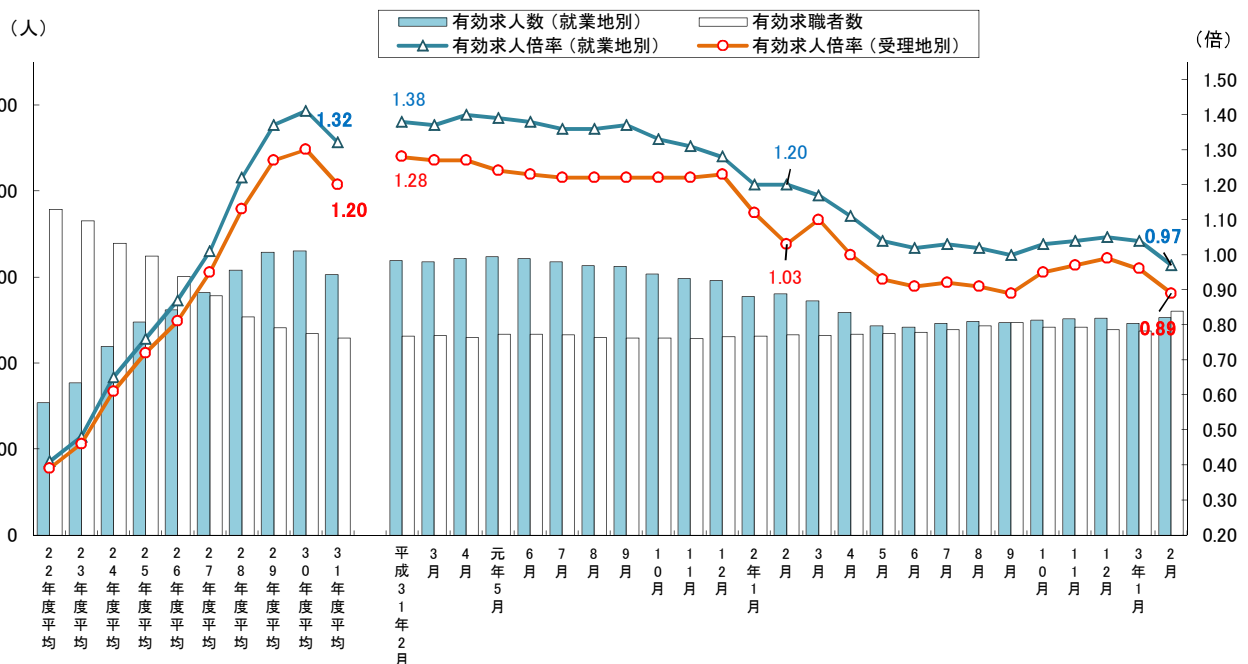
### 受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 【参考指標】

### 就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。  
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

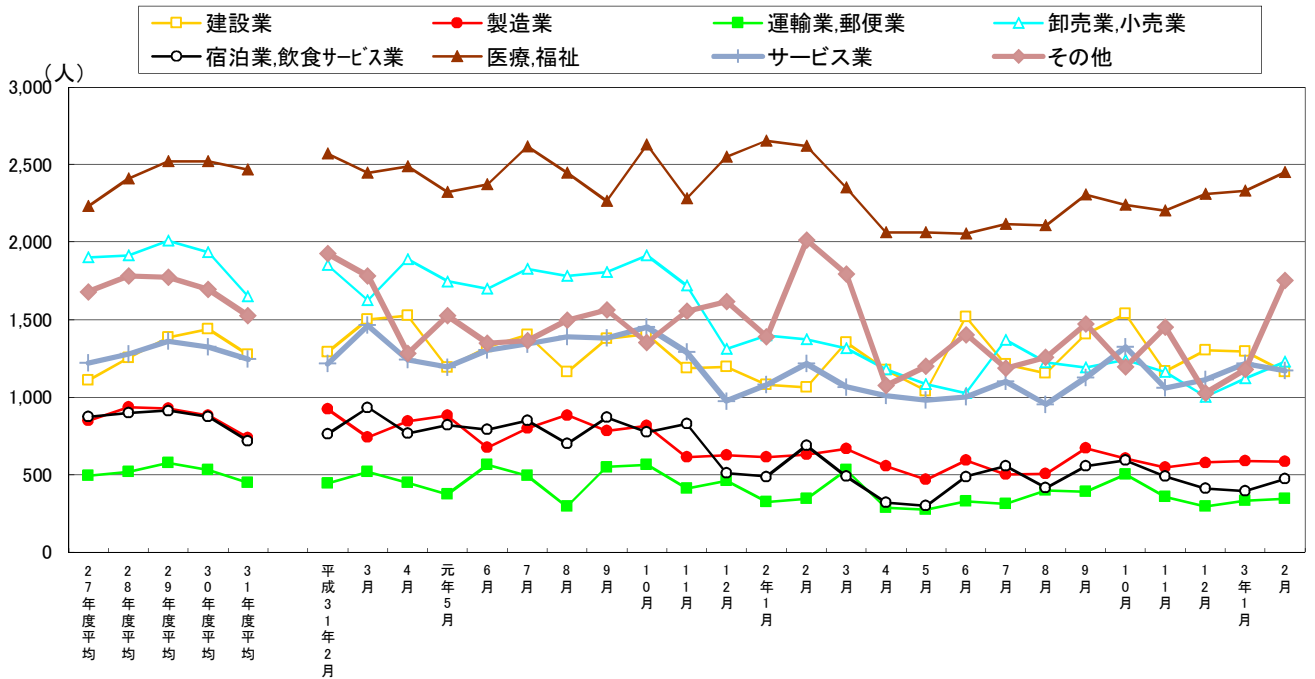
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和2年12月以前の数値は、令和3年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人数(原数値)は前年同月比7.9%(786人)減少の9,165人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月と比較して建設業等で増加し、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業等で減少した。

製造業では、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、印刷・同関連業等で減少した。



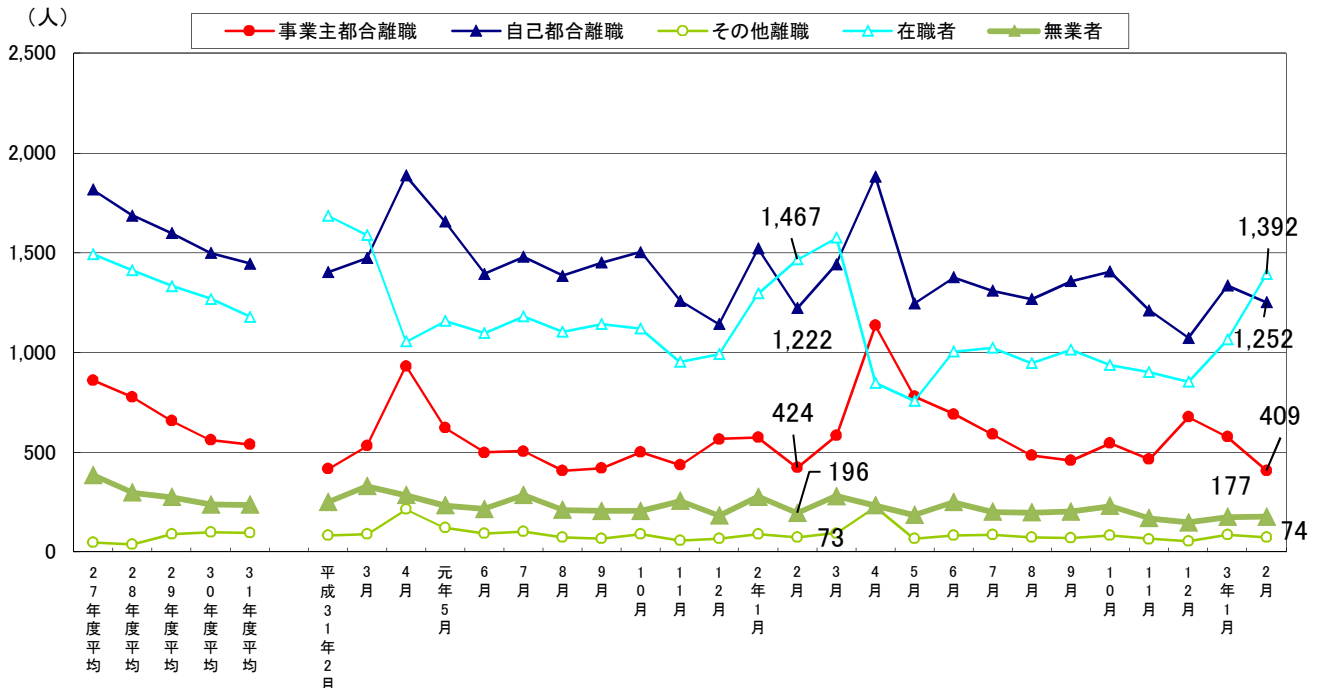
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産・物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比▲2.3%(▲78人)減少の3,304人。

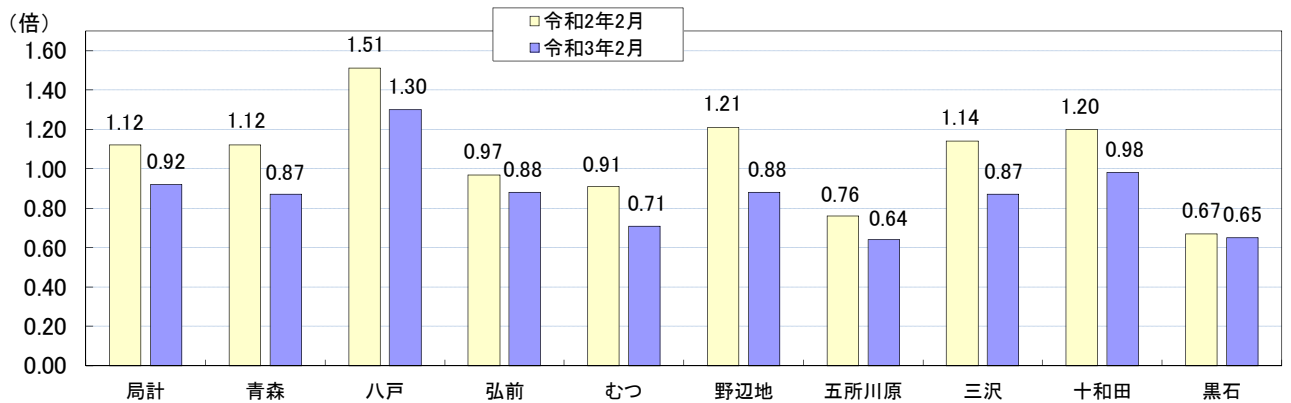
在職区別に前年同月と比較すると、在職者は▲5.1%(▲75人)減少、離職者は0.9%(16人)増加、無業者は▲9.7%(▲19人)減少した。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比▲3.5%(▲15人)減少し、自己都合離職は同2.5%(30人)増加した。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.92倍となり、前年同月より0.20ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R3.2	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,958	6,577	5,181	4,598	1,577	1,191	2,531	1,576	1,156	1,571
有効求人数	23,799	5,717	6,717	4,040	1,125	1,048	1,628	1,368	1,134	1,022

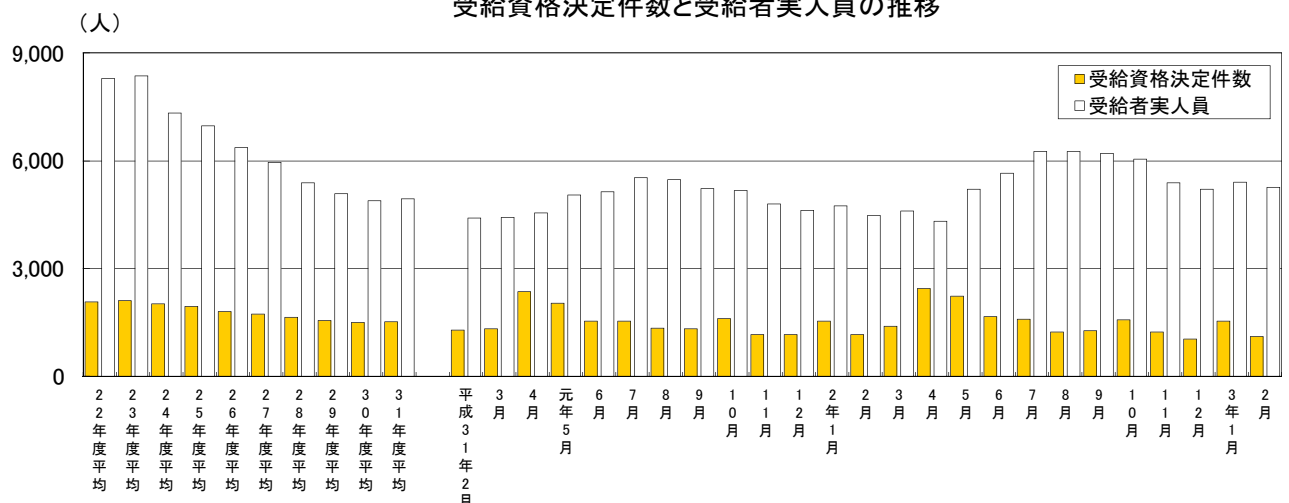
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比17.5%(785人)増加、前月比では2.5%(134人)減少の5,265人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.7%(55件)減少、前月よりも28.1%(433件)減少し1,109件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比47.0%(109人)減少、前月比75.9%(388人)減少し123人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

